

たすけ母
昔話にト口舟で ~~沈~~ ぬびし子、たよ不返討に

たすけられた活が多し子

實際に取った活をいすしおとして昔の人が

つた元はものだろよと思つていろ

今もど人とのまぶの比ぶーどれど今助けられ

たかひかうまひ

仕事にうまひあり さまひのことたつたり

だ 今 ^週 行きまきで行くにや最後解父母をこと

にみーのにすけ ^母 だ

合べること そいつ排他だ

人間以外の節物は一人ぶさうカをもらていろ

人間もろうだ しおし人間として欠陥をよま

とそれかう子と行かろ

型紙状のまり手足が子自由そいつ玉感のふり

り、手取らして悩むのかあれもだ

そり ^手 取れ 人の助けを必要とする 子 ^の 泣く

て ^は 介漢と思つていろ

私自身せおれをうて十年 それ子でけ

普通の人肉だつた

普

運々人肉で育つと今更で氣づかすか
 たこと知るか 今更でハ丁度好に存した
 こと知るか 新らしいことばかりだ
 念ぶよこせ 排泄の二つが不自由に存すと
 精神もあわしく存す 二つ二つが不可能と
 わかると自由な心も存かた
 そわでも生きるとのけ自覚心とこそか
 とう死んでもいいと思ひ存す 生きること
 にしかかつりつりする自覚がいの
 存する存し 何事かしい 存すること 誰かに
 も言え存し 存する時 万全 活の朝の合掌
 つらつとくは長人かいた 感謝 でき
 そーと笑如、つとつとくいふいふ青年が年補の
 思のつとつとくいふいふハの交換の存
 とサヤサヤと下玉に取るかえつとくは
 午のつとつとくは 心づかりした おとろいた
 手ごか社長が来つとくは 存して思いもよらな
 かうた こんな大さな巨すけ母は存し
 人ごう終りに近い時だ 深く深く感謝でき